

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.98 2002.6.5

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学)産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
 Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246 <http://www.soc.nii.ac.jp/jsei>
 (学協会情報発行サービスのドメイン名移行に伴い、URLが変更になっております。「naccis.」→「nii.」)

日本教育情報学会 第18回年会 参加申込み受付中 (事前参加受付8月3日まで)

第18回年会開催にあたり、多数の研究発表申込みありがとうございました。Newsletter96・97でご案内のとおり、本年度の年会は、山口県教育委員会、山口市教育委員会の後援をいただき、8月31日・9月1日の両日、山口大学吉田キャンパスを会場に開催いたします。「これからの教育評価と教師の役割」をテーマとしたパネルディスカッションをはじめ、4つの課題研究、対象者層(校種)ごとに発表セッションを設けた一般研究発表と多彩な発表が行われる予定です。参加お申込みにつきましては、下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加をお待ちしております。 — おいでませ山口へ —

期 日 2002年8月31日(土)・9月1日(日)

後 援 山口県教育委員会、山口市教育委員会

会 場 山口大学 吉田キャンパス

所在地 〒753-8513 山口市吉田1677-1 (TEL083-933-5000)

交 通 JR山口線「湯田温泉」駅からタクシー約5分

湯田温泉駅には、山陽新幹線「小郡」駅から約20分、「山口宇部空港」からは路線バスで約60分。

(山口大学への交通は不便です。時間にゆとりを持ってお越し下さい。詳細は下記URLでご確認ください)

交通案内: <http://www.center.edu.yamaguchi-u.ac.jp/jsei18/koutsu.html>

9月1日臨時専用バス運行。山口大学(16:30)→JR小郡駅→山口宇部空港
 (路線バスにないルートです)

宿泊案内: <http://www.center.edu.yamaguchi-u.ac.jp/jsei18/hotel.html>

同封の近畿日本ツーリスト宿泊案内もご参照ください

事務局 山口大学教育学部附属教育実践総合センター内

日本教育情報学会第18回年会実行委員会

日 程

8月31日(土)	9月 1日(日)
10:00~12:00 一般研究	10:00~12:00 課題研究・一般研究
12:00~13:00 昼食休憩	12:00~13:00 昼食休憩
13:00~13:45 総 会・学会賞表彰式	13:15~16:00 シンポジウム・
14:00~17:10 課題研究・一般研究	パネルディスカッション
18:00~20:00 懇 親 会 (別会場)	(SCS 参加予定：宮崎大学)

※発表申込み多数のため、両日とも課題・一般セッションを併行して行います。

※懇親会会場：セントコア山口（公立学校共済組合山口宿泊所）

※昼食は山口大学学生食堂が利用できます（臨時営業）。

(1) パネルディスカッション

テーマ 「これからの教育評価と教師の役割」

〔趣旨〕新学習指導要領の完全実施を控え、教育内容や方法・技術、評価のあり方も大きく変わろうとしている。さらに教師においては「教える」、「与える」授業から、「支援する」、「コーディネートする」といった授業における役割も変わってきている。なかでも学習内容の精選をめざした授業時数の削減のなかで新設された総合的な学習の時間の効果的な実施については、多くの現場の先生が内容、方法、評価のあり方について困惑しているのが実状である。

これらの背景をふまえ本シンポジウムでは、情報教育や総合的な学習の時間における教育情報（コンテンツ）や方法・技術に加え、とくに教育評価のあり方について考えてみる。

さらにこれからの教師に求められる資質や力量について考え、現職教員を対象とした効果的な教員研修のあり方について考えてみる。

パネリストは、教育内容や評価、情報教育、教員研修のそれぞれの観点から専門家を招き、参加者の教育実践者に明日からの授業に有用な情報提供を心がけたい。進行にあたっては、会場の参加者との質疑応答などコミュニケーションの活性化に努めたい。

また本会場の山口大学と宮崎大学をSCS（衛星通信を利用した遠隔装置）を利用して結び、パネルディスカッションに参加していただく。

〔基 調 講 演〕永野和男（聖心女子大学 教授）

〔コーディネータ〕林 徳治（山口大学）

〔パネリスト予定〕近藤 勲（岡山大学 教育学部／国立大学教育実践関連センター協議会会長）
：教師教育の観点から

宮田 仁（滋賀大学 教育学部）：教育内容・評価の観点から

川野 智（京都府総合教育センター）：情報教育・教員研修の観点から

川崎 勝（山口大学 医学部）：教育評価システムの観点から

沖 裕貴（山口大学 大学教育センター）：教育方法の観点から

〔遠隔（SCS）参加〕新地 辰朗（宮崎大学）：宮崎県の教育実践事例から

(2) 課題研究テーマ

課題1.「教育コンテンツ・評価（素材、ポートフォリオ、教材開発など）」コーディネータ：宮田 仁（滋賀大学）

学校の情報化への対応にともない Web 上で利用できる教育用コンテンツの開発、充実が急務となっている。WBT（Web Based Training）システムやインタラクティブな Web 教材、また、最近では VOD（Video-on-Demand）を利用したデジタル動画コンテンツの配信等、ICT の発展はめざましいが、今一度、原点に戻り、それらの教育用コンテンツとしての意義や評価を問い直したい。

また、Web ベースのポートフォリオ等を活用した評価の研究や実践も話題として取り上げたい。

課題 2. 「教育方法・技術（遠隔教育，ICT，カリキュラム，教育実践など）」コーディネータ：大西 荘一（岡山理科大学）
学校においてインターネットやテレビ会議システムの設備が整いつつあり，これらの設備を活用した遠隔教育が重要な課題となってきている。遠隔教育の実践を通じて得られたノウハウや問題点を抽出し，遠隔教育方法と教育効果について議論したい。また遠隔教育による様々な連携事例について，その有効性を議論したい。

課題 3. 「新教育課程（総合的な学習の時間，小学校英語）」コーディネータ：野口 政吾（山口大学附属光小学校）
総合的な学習元年を間近に控え，現場ではカリキュラムや評価，メディアリテラシーや小学校における英語活動など，実践的な課題がクローズアップされてきた。これらの課題を情報活用能力とからめながら議論していくことにより，「生きる力」「学力」などについて問い直していければと考えている。

課題 4. 「教師教育と生涯教育（教員研修，社会教育）」コーディネータ：横田 学（京都市立芸術大学）
小・中学校の新教育課程全面实施により総合的な学習の時間の真価が問われ，また，来年は高等学校「情報」の授業が始まる時期となり，インターネットなどを活用した授業への期待はますます大きくなっている。さらに，政府の e-Japan 重点計画に示されているように，生涯教育の場での情報教育も求められている。これらを指導する教員に必要な資質能力とは何か，また，その資質能力を身につけるための教師教育（大学，現職）の課題を明らかにするとともに，その内容及び方法についても検討したい。

（3）一般研究発表

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| (1) 初等教育の実践研究（幼稚園・小学校・養護学校 他） | (4) 教員研修の実践研究 |
| (2) 中等教育の実践研究（中学校・高校） | (5) 生涯学習の実践研究 |
| (3) 高等教育の実践研究（短大・大学・専門学校） | (6) 企業内教育の実践研究 |

従来，一般研究では発表分野ごとに発表セッションを振り分けていましたが，今年度の年会では，教育情報の内容や方法・技術について，対象者層（校種）ごとに発表セッションを設けます。

（4）発表の申込み

- ①発表申込者には，発表の可否を連絡します。
- ②発表を可とされた申込者に対しては，論文の執筆要項をお送りします。
- ③論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で，ワープロ出力したものを提出していただきます。

発表申込み期間は過ぎていますが，これからでも発表申込みができるセッションがあります。
ご希望の方は，年会実行委員会に至急お問合せください。

※5月27日までに申込みを付けている発表（講演者・題目）は，4，5ページのとおりです。
本リストは案で，発表者の追加・キャンセルなどでセッション・発表順が多少変更になることがございます。最終プログラムは次号 Newsletter でお知らせいたします。

課題研究(1) A 教育コンテンツ・評価(素材、ポートフォリオ、教材開発など) 31日(土) 14:00-17:10

池田 幸夫	山口大学	イメージ変化図による授業評価の実践
岡 敦	山口大学教育学部附属光小学校	造形教育とコンピュータ ～アナログとデジタルの共生をめざして～
赤川 雅生	山口大学教育学部附属光小学校	共有データを利用して、情報選択能力の基礎を育てる
太田 容次	滋賀大学教育学部附属養護学校	特別支援教育における情報活用能力育成を目指したカリキュラム開発とポートフォリオ評価
横山 隆光	岐阜県教育委員会	岐阜県における教育コンテンツの開発と実践を通じた評価の研究
荒川 信行	品川区立三木小学校	活動・指導記録用Webベースポートフォリオシステムの開発-教師間コラボレーションに基づく多面的な評価・支援のために-
Suyanee Deithongoomz	Bankok Technical Campus Thailand	Metacognition Designed in Web-based Instruction with Web Collaborative Tools
栗屋 智志	山口県教育研修所	子どもと教師のための教育用コンテンツの開発と配信システムに関する研究

課題研究(1) B 教育コンテンツ・評価(素材、ポートフォリオ、教材開発など) 1日(日) 10:00-12:00

小田 和美	東京女子体育大学	画像・映像素材コンテンツの配信と著作権表示マーク
矢野口 聡	文京学院大学情報教育研究センター	SOHOネットワーク教育の試み
村田 孝子	山口大学メディア基盤センター	IT援用教育の実践 -ポートフォリオの手法を応用して-
森王 範之	山口大学教育学部附属山口中学校	社会科におけるプレゼンテーションを活用した授業展開
加藤 直樹	岐阜大学	教育情報データベースS I S - T E M V Iの開発(1) ～教育資料の管理と流通～

課題研究(2) 教育方法・技術(遠隔教育、ICT、カリキュラム、教育実践など) 31日(土) 14:00-17:10

佐々木真理	京都教育大学	テレビ会議による中国・日本間の遠隔共同授業「日本語」における受講者の国際理解意識の形成
星野 朋啓	山口大学教育学部附属光小学校	メディアミックスの新たな可能性を探る-コミュニケーション能力を伸ばすメディア活用のあり方-
長谷川 伸章	山口大学 大学院	小中連携による美術教育の実践
中村 正則	山口大学教育学部附属光小学校	小学校現場における遠隔教育の実践より ～インターネット・テレビ会議システムの可能性～
大西 荘一	岡山理科大学	インターネット利用遠隔教育による高大連携教育
榊原 道夫	岡山理科大学	分散している学習コンテンツの管理モデルと大学教育への応用
藤原 良尚	(株)システムズナカシマ	ITを活用した学校情報の公開事例
辻岡 博之	山口県教育研修所	教育用ネットワークの効果的な活用に関する研究

課題研究(3) 新教育課程(総合的な学習の時間、小学校英語など) 31日(土) 14:00-17:10

野口 政吾	山口大学教育学部附属光小学校	情報手段を活用し、表現力・コミュニケーション能力を育む総合的な学習の時間
熊 安娜	京都教育大学 大学院	中国語と日本語を用いた情報用語の学習による児童の国際理解意識の形成
奥野 雅和	京都文教女子高等学校	高等学校での総合的な学習の時間と評価
三浦 清孝	京都教育大学 大学院	『伝え合う力』の育成を指向したメディア・コミュニケーションの適正化及び選択方法の改善
藤室 恒一	新南陽市立福川小学校	たくましく生活を創造する子ども Let's study English!
筒井 真代	宇治市立北小倉小学校	小学校におけるコミュニケーション能力育成をめざした授業実践
吉本 宏之	山口大学 大学院	総合的な学習における情報活用能力の育成～ミニ田んぼつくりからおにぎりまでの実践～
坂本 哲彦	山口大学教育学部附属山口小学校	育ち合う学びとしての総合学習のあり方～情報教育における互恵的な学び合い～
高下 正明	鹿野町立鹿野中学校	映像表現と情報教育

課題研究(4) 教師教育と生涯教育(教員研修、社会教育など) 1日(日) 10:00-12:00

福田 隆真	山口大学	美術文化の伝達と教員養成カリキュラムについて ～マレーシア・シンガポールの事例～
久世 均	岐阜県教育委員会	ネットワーク社会における生涯学習支援システムに関する研究
北川 敬一	大阪府立牧野高等学校	情報モラル教育の実践と課題
神村 信男	山口県教育研修所	インフォメーション画像による新しいコミュニケーションのあり方
横田 学	京都市立芸術大学	情報教育に関わる教員研修の現状と課題(1)
本田 慶裕	宇治市教育委員会	情報教育に関わる教員研修の現状と課題(2)

一般研究(1) 初等教育の実践研究(幼稚園・小学校・養護学校 他) 31日(土) 14:00-17:10

塩見 知利	平安女学院大学短期大学部	幼児における総合的感覚教育-幼児のメディア教材開発とそれに伴うインタフェイス開発-
岡村 吉永	山口大学教育学部	毛筆技能の計測と情報機器を利用した書写指導について
浅井 和行	京都教育大学	デジタル化時代の教育放送番組
尾崎 悠子	熊毛郡田布施町立田布施西小学校	特別支援教育におけるマルチメディア学習支援教材の開発
坂本 徳弥	兵庫教育大学 大学院	植物観察カードへの画像情報付加の効果
堀田 博史	園田学園女子大学	マルチメディアに親しむ保育活動の課題とその対応策
加納 重徳	岐阜大学 大学院	個別学習・家庭学習を支援する学習資料の開発研究 ～楽しく学ぶ算数・数学プロジェクト～
尾山 善昭	宇部市立小野小学校	児童による卒業記念CD制作の実践
加来 真弓	宇部市立岬小学校	楽しく学べる学習ソフトウェアの開発

一般研究(2) A 中等教育の実践研究(中学校・高校)		31日(土) 10:00-12:00
網藤 裕志	岐阜大学 研修生	理科教育における学習項目の分析と教育情報の蓄積
奥村 尚浩	岐阜大学 研修生	技術・家庭科(技術分野)における教育情報データベースの開発(1) -技術・家庭科における教育情報データベースの意義と概略-
鷺見 亮	美山町立美山南中学校	技術・家庭科(技術分野)における教育情報データベースの開発(2) -「技術とものづくり」に関する教育情報の開発-
伊藤 和典	海津郡平田町立平田中学校	技術・家庭科(技術分野)における教育情報データベースの開発(3) -「情報とコンピュータ」に関する教育情報の開発-
吉富 郁子	山口市立白石中学校	総合的な学習の時間におけるライフスキルトレーニング導入への試み
横沼 潤一	山口市立鴻南中学校	コンピュータを活用した授業の実践 -理科におけるグループ別テーマ学習-
小田 和美	東京女子体育大学	携帯メールを教材として扱うことの可能性と必要性
一般研究(2) B 中等教育の実践研究(中学校・高校)		1日(日) 10:00-12:00
塚田 慶一	東京成徳短期大学	創作力育成を可能にするメディア・リテラシーの重要性とその効果
小林 裕光	埼玉県立大宮中央高等学校	通信制高等学校におけるWB T教材の開発と利用評価
井上 史子	山口大学 大学院	中学生の情報活用能力の育成をめざした授業の実証研究(1)
広内 哲夫	文教大学	VRMLの総合的学習への適用の可能性について
藤本 光司	宝塚市立安倉中学校	情報教育の目標リストを軸にした授業実践と学習評価 -卒業デジタルアルバム制作(技術科)において-
中村 勝敏	山口大学 大学院	中学校理科におけるポートフォリオの活用
本郷 健	川村学園女子大学	分散処理的モデルの教材化に関する研究
一般研究(3) A 高等教育の実践研究(短大・大学・専門学校)		31日(土) 10:00-12:00
山口 幸三	明星大学	会計教育用支援システムの開発
光成 豊明	明星大学	CG教育用支援ソフトウェア
成瀬 喜則	富山商船高等専門学校	外国との共同学習のためのアンケート作成web
宮田 仁	滋賀大学	携帯電話対応コメントカードシステムを活用した多人数講義における授業コミュニケーションの改善(1)
武岡 さおり	中部大学 大学院	顔による行動追跡を付加した教育システムの検討
渡辺 昌介	武蔵野情報学園大学部	電子書類の作成と検索および分類・保管
宮地 功	岡山理科大学	Visual BasicによるCAI教材作成実験の試み
一般研究(3) B 高等教育の実践研究(短大・大学・専門学校)		31日(土) 14:00-17:10
片山 章郎	順正短期大学	学生の文章作成手段について -ワープロと手書きに対する意識調査-
加藤 國太郎	名古屋文理短期大学	短大基礎教育科目における情報教育の実践と今後の課題
沖 裕貴	山口大学大学教育センター	短大におけるプロジェクト型演習の取り組み
村上 佳久	筑波技術短期大学	無線携帯端末を用いたネットワーク活用学習システムの開発
林川 基治	山口大学	情報教育に対する意識調査
小田 光宏	青山学院大学	情報活用教育カリキュラムの諸要因に関する考察
和田 武	愛媛大学総合情報処理センター	学年進行に伴う学習内容への意欲変化
川田 博美	名古屋女子大学短期大学部	能力別クラス編成による効果的な情報教育カリキュラム実現の試みについて
八木 浩雄	明星大学 大学院	教育学研究における研究情報の活用
小山 幸治	中部大学 大学院	理解度向上支援総合ネットワーク型教育システムの構築-データ構造に着目したDBの構築-
渡辺 寛二	大阪電気通信大学短期大学部	ワークブックによる問題解決の演習とその評価
一般研究(4) 教員研修の実践研究		1日(日) 10:00-12:00
神月 紀輔	滋賀大学 大学院	中学校数学教員を対象にしたWebベースの教育実践支援交流システムの開発(2) -仮システムの電子掲示板における発話データの分析から-
林 徳治	山口大学	ホンジュラスにおける看護教育強化としての視覚覚教材に関する教員研修
黒川 マキ	AST関西経理専門学校	情報教育に関する教員研修の事例および課題(3)
真下 知子	平安女学院大学	授業改善をめざした教師訓練プログラムのあり方に関する一考察 -小・中・高の教務主任を対象としたアンケート調査を通して-
末松 美樹	岐阜大学 大学院	動画配信技術を活用したe-Learningコンテンツの開発
谷口 由美子	明治東洋医学専門学校	プレゼンテーション技術の向上を図る訓練プログラムの実践と評価-東洋医学専門学校教員養成科での授業実践を通して-
園屋 高志	鹿児島大学	小・中学校教師の情報モラル教育に関する意識調査
一般研究(5) 生涯学習の実践研究		31日(土) 10:00-12:00
加藤 直樹	岐阜大学	シソーラス参照機能を組み込んだデータベース検索システムの開発と評価
山田 信雄	各務原市立那加第三小学校	野草情報収集のためのアクセスログ解析と情報収集の効率化
安達 一寿	十文字学園女子大学	女性関連施設職員のためのICT習得ポータルサイト(TICT)の運用と拡充
鷹岡 亮	山口大学	大学における情報関連授業の教員研修・生涯学習への利活用に関する一提案
谷口 知司	岐阜女子大学	地域資料のデジタルアーカイブの構成についての研究]中山道「醒井宿」(米原町)のアーカイブ

(5) 参加申込方法

参加申込書(葉書)に必要事項をご記入の上、第18回年会実行委員会事務局まで送付して下さい。送付の際には、お手数ですが切手をお貼り下さい。お支払いは、同封の郵便振替用紙をご利用ください。期日までに申し込ただけでない方は、当日参加扱いになります。振込みは、若干事務手続きに時間がかかるため、下記期日までとします。期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

参加申込締切 2002年8月3日(土) 必着

振込期限 2002年8月15日(木) 郵便局窓口期限

郵便振替口座番号 01300-1-69627

口座名 日本教育情報学会第18回年会実行委員会(学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください)

参加費

- ・会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
- ・会員(当日)・非会員 参加費4,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
※論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします
- ・地域の方 地域の方の参加を歓迎します。地域の小中高の先生方等の参加費などは、年会実行委員会へお問合せください(メールなど)。事前に参加予約が必要です。
- ・論文集の郵送申込について(年会に参加されない方)
年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込を
してください。年会終了後論文集を送付いたします。

論文集 3,500円(郵送費、事務諸経費を含む)

(6) 宿泊・交通について

- ・大学近郊に宿泊施設は多数あります。適当な宿泊施設についてのご案内は、同封の近畿日本ツーリストのご案内をご参考ください。
- ・ご予約は各自でご手配願います。
- ・9月1日運行の臨時専用バスは予約制となります。(利用予定者数が少ない場合は運行中止)
山口大学(16:30)→JR小郡駅(17:10頃)→山口宇部空港(18:00頃)。
このルートは路線バスにないルートです。(通常は、山口大学から徒歩orタクシーで湯田温泉
に向かい、湯田温泉からJRまたは、バス利用になります)
- ・専用バスご利用予定の方は、参加申込書(葉書)にご記入ください。(小郡までか山口宇部空港までか/近畿日本ツーリストの宿泊申込みに合わせてお申込みの場合は、その旨を記載ください)

(7) スケジュール(予定)

- | | | | |
|----------|---------------|---------|--------------|
| ①発表申込締切 | 2002年5月17日(金) | ②発表決定通知 | 2002年6月6日(木) |
| ③論文提出締切 | 2002年7月17日(水) | ④参加申込締切 | 2002年8月3日(土) |
| ⑤参加費支払締切 | 2002年8月15日(木) | | |

発表申込書送付先・問い合わせ先

送付先:〒753-8513 山口市吉田1677-1

山口大学教育学部附属教育実践総合センター内

日本教育情報学会 第18回年会実行委員会事務局

Tel & Fax 083-933-5310

ホームページ: <http://www.ica-j.org/jsei18/minibbs.cgi>

メールによる問合せ: 第18回年会実行委員会 (jsei18@freeml.com)